



第64期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日



**HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.**

ヒロセ電機株式会社



代表取締役社長
中村達朗



代表取締役副社長
串田榮

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

平成22年度上半期（当社第64期第2四半期累計期間・平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の事業の概況をお届けし、ご報告申し上げます。

営業の概況

当上半期（第2四半期連結累計期間）におけるわが国経済は、輸出関連を中心とした企業業績の改善およびそれに伴う設備投資の下げ止まり等景気の自立回復への期待は高まったものの、厳しい雇用環境やデフレ状況は継続しており、さらに海外経済の減速懸念や急速かつ長期化する円高の影響などから、景気先行きに対する不透明感および停滞感が強まる局面となりました。

このような状況下当社グループは、引き続き社内態勢の整備も図りながら従来以上に高度化するニーズに適合した製品開発力の強化や新製品の開発促進、一層の品質向上に努めるほか、生産効率化、海外生産の拡大および経費節減等を含めたコスト低減および国内外における販路拡大・販売力強化等経営全般にわたり積極的な諸施策を講じてまいりました。

また、携帯電話分野に次ぐビジネスの柱としてカーエレクトロニクス分野や産業用機器分野向けの取り組みも強化しており、その成果も表われ始めました。

その結果、当上半期の連結売上高は475億3千7百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は131億5百万円（同44.9%増）、経常利益は134億9百万円（同33.0%増）、四半期純利益は83億3千万円（同35.5%増）となりました。

株主の皆様の間配当金につきましては、経営方針に基づき、一株につき75円とさせていただきます。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、携帯電話・スマートフォン、パーソナルコンピュータ等の量的拡大やカーエレクトロニクスのさらなる進展、産業機器およびデジタル情報家電分野での新たな市場の創出等が見込まれますが、景気先行きに対する不透明感が高まる中、長期化する円高・ドル安の影響や低価格志向によるさらなる価格競争の激化等、その厳しさは継続するものと予測されます。

このような環境の中で当社グループは、常に最先端の技術を追求し、より効率的な資源の配分と集中化を図り、弛まぬ改善・革新に取り組み、市場ニーズに対応した高付加価値新製品の開発力強化、生産効率化の促進、品質のさらなる向上などコスト競争力を高めるとともに、グローバル化の推進、国内外

における販路の開拓等に努め、利益ある成長を目指して経営基盤の強化を図り、企業価値増大に取り組んでまいり所存であります。

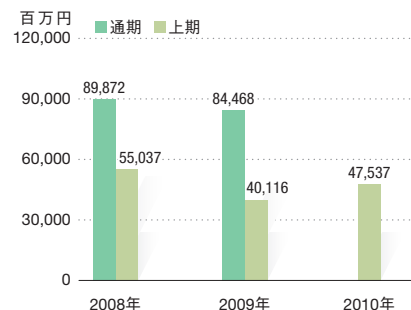
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月

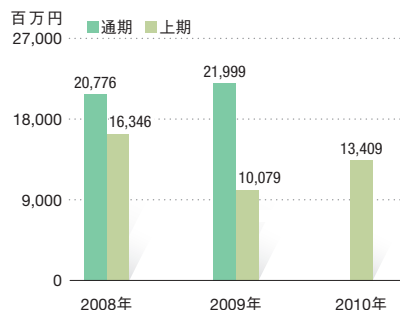
代表取締役社長 中村 達朗
代表取締役副社長 串田 榮

業績ハイライト

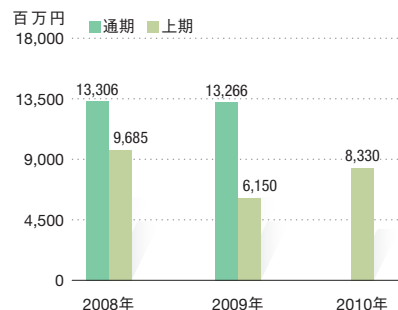
売上高



経常利益



四半期（当期）純利益



多極コネクタ

当社の主力製品群であります多極コネクタは、丸形コネクタ、角形コネクタ、リボンケーブル用コネクタ、プリント基板用コネクタ、FPC（フレキシブル基板）用コネクタ、ナイロンコネクタ等多品種にわたります。主として携帯電話・スマートフォン、デジタル情報家電、パーソナルコンピュータ、通信機器、カーエレクトロニクス等の分野から計測・制御機器、FA機器および医療機器などの産業用機器等の分野まで幅広く使用されているコネクタであり、今後のさらなる高度情報通信ネットワーク化社会および環境を考慮した省エネ化社会の進展とともに需要の拡大が見込まれております。

（当第2四半期連結累計期間）

この結果、当第2四半期連結累計期間は、カーエレクトロニクス分野や産業用機器等の分野での伸長もあり、売上高は389億8千3百万円（前年同期比20.9%増）となりました。



同軸コネクタ

同軸コネクタは、マイクロ波のような高周波信号を接続する特殊な高性能コネクタであり、主にマイクロ波通信機、衛星通信装置、電子計測器、または携帯電話・スマートフォンおよび伝送・交換装置等に使用されるコネクタであります。なお、光コネクタもこの中に含んでおります。

(当第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間は、一部デジタル家電分野の需要低迷等がありましたが、売上高は59億5千5百万円（前年同期比2.6%増）となりました。



その他の製品

以上のコネクタ製品以外の製品として干渉波EMS等の電子医療機器、方向性結合器、固定減衰器、同軸スイッチ等の高周波デバイス製品、マイクロスイッチ類およびコネクタ用治工具類を一括しております。

(当第2四半期連結累計期間)

当第2四半期連結累計期間は、売上高は25億9千7百万円（前年同期比24.8%増）となりました。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,302	109,572
受取手形及び売掛金	25,735	24,014
有価証券	20,107	20,044
商品及び製品	4,019	3,445
仕掛品	2,424	2,424
原材料及び貯蔵品	460	429
未収入金	2,415	2,912
その他	2,831	2,482
貸倒引当金	△22	△125
流動資産合計	168,273	165,198
固定資産		
有形固定資産	19,062	18,564
無形固定資産	1,905	2,093
投資その他の資産		
投資有価証券	65,377	65,258
その他	2,207	1,868
貸倒引当金	△320	△85
投資その他の資産合計	67,264	67,040
固定資産合計	88,233	87,698
資産合計	256,506	252,897

科 目	当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,308	12,005
未払法人税等	5,208	4,892
賞与引当金	1,424	1,316
役員賞与引当金	90	76
その他	3,115	2,640
流動負債合計	23,147	20,929
固定負債		
退職給付引当金	88	82
資産除去債務	44	—
その他	1,281	1,472
固定負債合計	1,414	1,555
負債合計	24,562	22,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,404	9,404
資本剰余金	14,371	14,371
利益剰余金	261,327	255,259
自己株式	△48,539	△46,535
株主資本合計	236,565	232,500
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,995	2,351
為替換算調整勘定	△6,681	△4,505
評価・換算差額等合計	△4,686	△2,154
新株予約権	65	66
純資産合計	231,944	230,412
負債純資産合計	256,506	252,897

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	40,116	47,537
売上原価	22,959	25,687
売上総利益	17,156	21,850
販売費及び一般管理費	8,113	8,744
営業利益	9,043	13,105
営業外収益		
受取利息	569	375
受取配当金	50	57
持分法による投資利益	393	327
その他	184	98
営業外収益合計	1,198	858
営業外費用		
為替差損	154	538
自己株式取得費用	2	2
その他	5	14
営業外費用合計	162	555
経常利益	10,079	13,409
特別利益		
受取和解金	—	234
特別利益合計	—	234
特別損失		
固定資産除却損	45	108
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	31
特別損失合計	45	139
税金等調整前四半期純利益	10,033	13,503
法人税等	3,882	5,172
少数株主損益調整前四半期純利益	—	8,330
四半期純利益	6,150	8,330

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

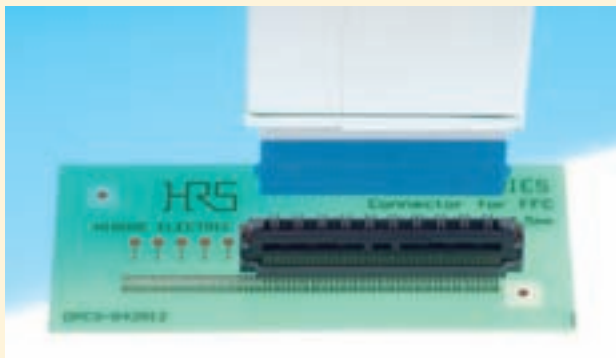
科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,017	10,594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,391	△8,817
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,846	△4,143
現金及び現金同等物に係る換算差額	△373	△1,159
現金及び現金同等物の増減額	△4,593	△3,525
現金及び現金同等物の期首残高	53,763	56,836
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	414	37
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,585	53,348

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

新製品の紹介

当社は毎年多くの新製品を市場へ供給いたしておりますが、その中から一部の製品シリーズについてご紹介いたします。

FH48



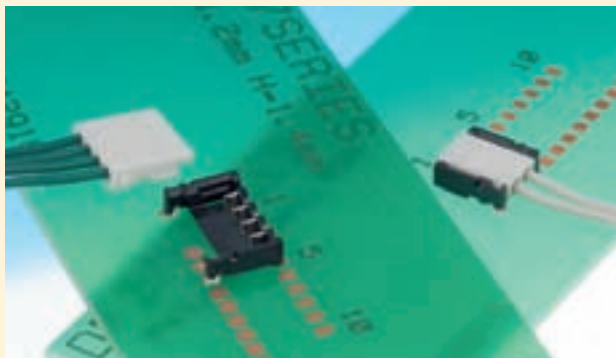
デジタル事務機、情報家電、および次世代カーマルチメディア市場向けに開発したインピーダンスマッチング・シールドFFC対応の0.5mmピッチ縦型コネクタです。高速伝送対応、EMI対策ニーズに対応した独自の端子構造を有しており、堅牢性が高く操作性の良い縦型フリップロック構造となっております。

ZX360



ポータブルHDDやノートPC・携帯端末などの、次世代高速I/F (5Gbp対応) として開発されたMicro USB 3.0規格コネクタです。当社はUSB-IFの規格化メンバーとして規格制定に携わり、小型ながらも良好な操作性と高速伝送性能を兼ね備えた構造となっております。

DF57



DSC/DVC、LED照明機器、薄型TV、ノートPC (タブレットPC) 等セットの小型化に合わせて、低背、省スペースを実現した内部接続用コネクタです。コネクタを小型化する一方で当社独自のロック機構：スウィングロックを採用し、強度面にも配慮した製品となっております。

H.FL / S



医療のMRI診断装置向けに開発いたしました内部接続用SMTロープロファイル (嵌合高さ3mm) 小型同軸コネクタです。周波数2GHzまで対応可能であり、非磁性環境が要求される分野での使用を考慮し、非磁性材料および非磁性対応めっきを採用した製品となっております。

●ヒロセ技術展開催

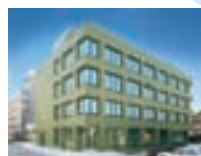
本年9月9日（木）から10日（金）の2日間にかけて、東京・渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにおいて、「ヒロセ技術展 CONNEXTION 2010」を開催しました。

この技術展では、「分野別」・「用途別」などにコーナーを分け、当社の新製品を展示するとともに、製品のプレゼンテーションを行い、ご好評いただきました。また、技術セミナーを同時開催し、先端技術の動向についてのプレゼンテーションを行い、来場者から高い関心を集めました。



グループネットワーク

- 海外拠点
(支店・生産子会社・
販売子会社・関連会社)
- 海外代理店
- 主な輸出先



●本社



●横浜事業所



●営業本部



●インドネシア
P.T. HIROSE ELECTRIC
INDONESIA



●中国
広瀬電機（東莞）有限公司



●マレーシア
HIROSE ELECTRIC
MALAYSIA Sdn.Bhd.

- 本社 東京都品川区大崎五丁目5番23号
- 営業本部 東京都品川区大崎五丁目1番11号
- 営業所等 立川営業所・大阪支店
名古屋営業所
- 技術本部 横浜市港北区菊名七丁目3番13号
横浜事業所
技術センター分室 横浜市港北区新横浜三丁目8番11号
- 製作本部 横浜市港北区新横浜二丁目15番10号
横浜事業所分室

- 子会社 (国内)
東北ヒロセ電機株式会社 (岩手県宮古市)
郡山ヒロセ電機株式会社 (福島県郡山市)
一関ヒロセ電機株式会社 (岩手県一関市)
H S T 株式会社 (神奈川県横浜市)
- (海外)
HIROSE ELECTRIC (U.S.A.) ,INC. (アメリカ)
HIROSE ELECTRIC UK LTD. (イギリス)
HIROSE ELECTRIC EUROPE B.V. (オランダ)
HIROSE ELECTRIC MALAYSIA Sdn. Bhd. (マレーシア)
HIROSE ELECTRIC SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール)
台廣電子股份有限公司 (台湾)
P.T. HIROSE ELECTRIC INDONESIA (インドネシア)
廣瀨香港有限公司 (香港)
廣瀨電機香港貿易有限公司 (香港)
広瀬電機（東莞）有限公司 (中国・東莞)
博瀨電機貿易（上海）有限公司 (中国・上海)
廣瀨電機（蘇州）有限公司 (中国・蘇州)
廣瀨感應科技（香港）有限公司 (香港)
- 関連会社
HIROSE KOREA CO., LTD. (韓国)
威海広瀬電機有限公司 (中国・威海)
威海広瀬貿易有限公司 (中国・威海)

会社の概況

会社概要 (平成22年9月30日現在)

商号 ヒロセ電機株式会社
 設立 昭和23年6月15日
 従業員 787名 (パートタイマーを除く。)
 資本金 9,404,379,401円

株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行済株式総数 35,404,488株
 (自己株式4,616,248株を除く。)
 株主数 5,426名

取締役および監査役 (平成22年9月30日現在)

代表取締役社長	中村 達朗
代表取締役副社長	串田 榮
常務取締役	杉野 貢
常務取締役	吉村 義和
取締役	二階堂 和久
取締役	石井 和徳
取締役	飯塚 和幸
取締役	近藤 真
取締役	中村 充男
社外取締役	児島 仁
常勤監査役	松原 俊雄
社外監査役	関根 榮郷
社外監査役	比嘉 高
社外監査役	杉島 光一

(注)

1. 取締役 児島 仁氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役 関根榮郷氏、同 比嘉 高氏、同 杉島光一氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

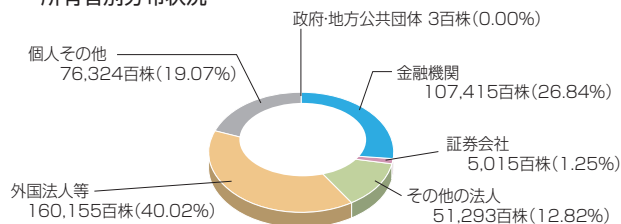
大株主 (上位10名)

株主名	持株数
ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー	33,331
財団法人 ヒロセ 国際 奨学 財団	28,550
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	24,353
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4)	17,686
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	11,685
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	8,162
みずほ信託銀行株式会社信託口 0700016	7,898
みずほ信託銀行株式会社信託口 0700017	7,847
ステートストリートバンク アンド トラスト カンパニー	7,723
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,635

(注) 上位大株主10名のほか、当社が自己株式46,162百株を保有しております。

株式分布

所有者別分布状況



会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
(そのほか必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数 100株

公告方法 当社のホームページに掲載します。
(<http://www.hirose.co.jp/investor/index.htm>)
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

**株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関** 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

**株主名簿管理人
事務取扱場所** 東京都中央区八重洲二丁目3番1号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

**インターネット
ホームページURL** <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。



ホームページ

<http://www.hirose.co.jp>

